

アニマルスピリットとは、企業家の投資行動の動機となる、将来に対する主観的な期待のことであり、英国の経済学者ケインズが『雇傭・利子および貨幣の一般理論』のなかで使用した用語です。経済活動の多くは合理的動機に基づいて行われていますが、その一方で、将来の収益を期待して事業を拡大しようとする、合理的には説明できない不確定な心理によって左右されると考え、その心理をいったものです。「血気」「野心的意欲」「動物的な衝動」などとも訳されています。

医学の目的は収益性向上の期待にあるわけではないので、アニマルスピリットという概念が医学にそのまま適用できるわけではありませんが、新たな術式の発案などには同様な野心的意欲が必要なことは多くの方に同意していただけたと思います。内視鏡下手術においても多くの新たな試みは外科医のアニマルスピリットをその出発点としています。一方、多くの機器を使用する内視鏡下手術の特性から、市場性を感じたメーカーのアニマルスピリットも大いに刺激し、両者の共鳴により、術式や手術器械も発展してきたのも事実です。

一方、経済学で収益に相当する部分は、医学ではステークホルダーごとに異なっています。機器メーカーが利潤を追求することは営利会社として当然ですが、外科医側の収益に相当する部分は色々な側面があると思います。患者さんにとって最大の利益をもたらす方法というのは簡単ですが、患者利益にも色々な側面があり、社会的経済的背景や医療供給システムなどを考慮すると一定の結論をえることは容易ではありません。さらに、研究結果公表時のパブリケーションバイアスも大きな問題です。これは研究結果公表がその結果の性質や方向性に依存する場合生じるバイアスのことで、簡単に言えば、研究者はうまくいった研究のみを公表するインセンティブがあるし、ジャーナルなど出版側にとっても注目を引く研究を選ぶインセンティブがあるということです。このようなバイアスは、複数の研究結果を統計的に処理するメタアナリシスで、データの一部が除外されている可能性のため特に問題になります。この問題に対しては、インセンティブの仕組みを変えることで対応しようとする試みもあるようです (<http://arstechnica.com/science/2009/09/for-clinical-trials-design-and-results-dont-always-match/>)。

本誌編集委員会の議論ではアニマルスピリット（先進性、チャレンジ性）を重視していますが、同時に新たな試みのメリットばかりではなく、(潜在的な)欠点までも見通すような、深い考察があるかどうかにも重視しています。さらに論文発表のインセンティブが議論になることも少なくありません。投稿論文作成時には、このような点にも配慮頂ければ幸いです。

(森 俊幸)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第18巻 第5号) 2013年9月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：2,940円(本体2,800円+税5%)。*会員には毎号送付されます。

2013年 年間購読料：冊子版17,160円、電子版/個人17,160円、電子版/共有19,800円、冊子+電子版/個人20,160円、冊子+電子版/共有22,800円(税込)(配送料：医学書院負担)*会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会(代表：北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

日本コンベンションサービスク株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp(担当：野上)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2013, Printed in Japan

発売：(株)医学書院(代表：金原 優)(本誌担当：水野、安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

80 歳以上の超高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の安全性と有用性の検討 安田 篤・他 近畿大学外科学教室
胃切除術後 Petersen's defect へ内ヘルニアを発症した 11 例の検討 三輪高嗣・他 岡崎市民病院外科

●症例報告

人工造脛後の内ヘルニアに対し腹腔鏡下で修復した 1 例 椎原正尋・他 東京女子医科大学消化器外科
腹腔鏡下に整復しえた大網裂孔ヘルニア陥頓の 1 例

一開腹歴のないイレウスにおける診断治療アルゴリズムの提案 北川美智子・他 東京北社会保険病院外科
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における術中病理診断の重要性を示す 1 例 清川貴志・他 がん研有明病院消化器外科
形状記憶ヘルニア用メッシュを用いて腹腔鏡下ヘルニア修復術を行った

スピーゲルヘルニアの 1 例 渡邊克隆・他 袋井市立袋井市民病院外科
腹腔鏡下に治癒しえたループ状 S 状結腸腹膜垂による腸閉塞の 1 例 良永康雄・他 練馬光が丘病院外科
術前の血栓溶解療法にもかかわらず腹腔鏡補助下横行結腸切除後に肺血栓塞栓症が

再発した 1 例 吉本裕紀・他 小倉記念病院外科

●手術手技

肝 S7,8 の病変を有する大腸癌同時性肝転移における

用手補助腹腔鏡下肝切除術 酒井宏司・他 信州大学医学部消化器外科
完全腹腔鏡下幽門側胃切除術における口側胃切離線決定のための

色素注入法 塙 秀暁・他 埼玉県立がんセンター消化器外科

他に症例報告が数編あります。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。

Event News 掲載をご希望される方へ

関連学会・研究会の会告掲載をお受付いたします。代表者名・日時・開催会場・事務局など、必要な掲載内容を A4 判紙 1 枚にまとめ、下記「日本内視鏡外科学会雑誌」編集室までお送りください。

なお掲載料金は掲載後、日本内視鏡外科学会事務局より請求させていただきます。

掲載料金：1/2 頁 10,000 円，1 頁 20,000 円

受け付け締め切り：掲載希望号(月)の前々月 25 日まで

申込先：☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

(株)医学書院 医学雑誌部

「日本内視鏡外科学会雑誌」編集室

Tel：03-3817-5707 Fax：03-3815-7802 E-mail：jses@igaku-shoin.co.jp